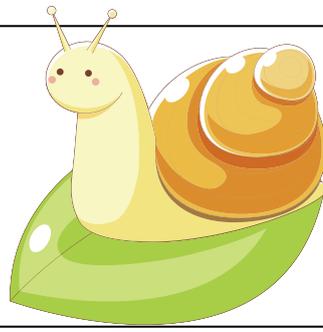


産地直送便



発行(農)山形おきたま
産直センター
山形県南陽市漆山 1068
TEL 0238 (47) 7338
<http://www.okitama.net/>
2013.6.1 発行
責任者 星 隆之

～田植え～

青年部副部長/有機米生産者 倉田 健三

こんにちは、初めまして！山形おきたま産直センターの倉田です。私は就農して7年目。年齢は31才！やりたいこといっぱい、夢いっぱいのまだまだ若手農業者のつもりです！山形県はやっと春が来たかな？と思ったら、田んぼ作業に追われているうちに早々とサクランボも色づき始める初夏の暑さを感じる季節になりました。



田植えの前に代掻き(しろかき)についても少しご紹介します。代掻きとは 耕起後、田に水を入れ土を砕いてかきならす作業 です。おきたま産直センターではこの代掻きにもちょっとした工夫をしています。普通1回で仕上げてしまう代掻きですが2回に分けて行うのです。1回目ざっと代掻きをした後、約10日ほど待ちます。するとこの10日で苗の成長を邪魔する雑草が発芽してくるのです！2回目の代掻きでその雑草の種を泥と一緒に地中に埋め込んでしまうのです！！

これで雑草より苗の方が早いスタートがきれる環境を作ってあげるのです！
化学合成農薬に頼らない米づくりにはこんな地道な作業が随所に隠されています。

さて、本題の田植えです。田植えは皆さんご存知の通り田植え機に乗り田んぼに苗のを植えていきます。普通、田んぼ10aあたり苗箱換算で約30枚程度の苗を田んぼに植えます。でも私たちは20枚~23枚ほどしか使いません。苗1本あたりの面積を増やす為です。こうすることにより栄養が行き渡りやすくなる、風通しがよいので病気も防げる、農薬を使わなくてすむなど沢山のメリットがあるんです！

などなど、化学合成農薬や肥料に頼らない米づくりには代掻きから田植えだけの間だけでもこんなに沢山の秘密があるんです(´▽´)



今年度から新たに「広報委員会」が発足致しました。
“後継者世代”中心のメンバーがそれぞれの視点から面白くて役に立つ農業&農村情報をお届けしていきます。
産地直送便やホームページもより充実したものにしていきたいと思いますので、みなさまぜひご覧ください！

HPアドレス <http://www.okitama.net/>



～花摘み～

実はりんごの適作地「山形県」

こんにちは、就農して11年目の31才、高橋と申します。
今年は暖かくなるのが遅く、ゴールデンウィーク明けから
りんごの花が咲き始めました。

りんごは1つの花そうに5～6つの花が咲きますが、中心花と
呼ばれる真ん中の花だけを残して摘み取ってしまいます。

そうする事で、1つの花に栄養分を集中させてより良いりんご作りをしています。



りんごは、果樹の中で最も
剪定が難しい樹種で、冬になると
何度も剪定講習会が開かれます。

しかし、1本1本樹勢が違っ
たり、りんごの品種により切り
方が変わるため、実質1年に1
回しか切る事が出来ません。

だからこそ、果樹部会員の間で情報や技術の交換をして品質の向上を図っていきます。

産直委員会委員長/果樹生産者 高橋 哲郎

お米の保管と管理 ...お米は生鮮食品です...

梅雨の時期から夏場にかけては特にお米の保管管理にご注意下さい。

湿気の少ない風通しの良い所に保管して下さい。

直射日光の当たらない場所に保管して下さい。

日差しは苦手、湿気も苦手お米はデリケートなのです。冷蔵庫に入るようであれば密閉容器に入れて保管をお願い致します。 虫よけに鷹の爪をご利用下さい。

産直米変更連絡用紙

山形おきたま産直センター行き → FAX 0238-47-7318

お休みや重量変更などのご連絡は、お届け日の10日前まで受付。 FAX送信日 月 日

お客様コードNO (納品請求書の左上 5桁のコードNO)

氏名 様 宅 - -

☑お休み連絡 月 日お届け分のみお休み
月～ 月までお休み

☑変更連絡 月 日お届け分の変更
～変更内容～

※新婦人のお客様は各組織ご担当者様へご連絡をお願い致します。